

## 会 議 録

会議名		相模原市米軍基地返還促進等市民協議会 令和 5 年度実行委員会
事務局		基地対策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 0 7 (直通)
開催日時		令和 5 年 7 月 4 日 (金) 午後 2 時 4 5 分～午後 3 時 4 0 分
開催場所		けやき会館 5 階 大樹の間
出席者	委員	5 4 人
	事務局	7 人 (市長公室長、基地対策・中山間地域対策担当部長、基地対策課長、他 4 人)
会議次第		1 開会  2 議 題 (1) 役員改選 (2) 令和 4 年度事業報告及び収支決算報告・会計監査報告 (3) 令和 5 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) (4) 市内基地の動向等  3 閉会

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、◎は会長の発言)

1 開会

2 議題

(1) 役員改選

役員改選について、事務局から説明ののち、実行委員より事務局案の提示を求められ、提示した事務局案は原案のとおり承認された。

(2) 令和 4 年度事業報告及び収支決算報告、会計監査報告

令和 4 年度の事業報告及び収支決算報告について、事務局から説明ののち、監事欠席のため事務局代読により会計監査報告を行い、原案のとおり承認された。

(3) 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)

令和5年度の事業計画案及び収支予算案について、事務局より説明を行い、原案のとおり承認された。

(4) 市内基地の動向等

市内基地における動向等について事務局から説明を行った。

質問・意見の概要は、次のとおり。

- 1点目、相模総合補給廠において空砲を使った訓練が行われ、近隣にお住まいの方から、その音に非常に驚いたとの苦情及び相談が私の元にも寄せられた。私からも市に問い合わせをさせてもらったが、市民の方からこの訓練に関する苦情や不安の声が市に対し直接寄せられたのか、確認したい。

2点目、PFOS及びPFOAについて、市が一度立入調査をされたと認識しているが、神奈川県は米軍に対し、基地への立入を求め照会しているものの、なかなかそれに対し明確な回答が得られないと一部の新聞報道にあった。さらに、一部の新聞が本市中央区の飲用に使用している井戸水から基準値の5倍を超えるPFOSが検出されたとの調査結果が出たと報じたが、補給廠等米軍基地との関係はあるのか、また、このことについて米軍から具体的な説明はあるのか。

明らかに基地と関係がないということであれば良いのだが、キャンプ座間も含め全く関係がないとは言いきれないと思っている。このことについて、事務局の考えを伺いたい。

- 1点目、補給廠で今年度に入って訓練が行われた件は、市に事前に通告があり、市としても事前に報道発表をしたものである。ESB検定という訓練であり、具体的な訓練内容については照会中だが、軍人としての技量を検定するための訓練と認識している。

この訓練は、今年4月前後に補給廠とキャンプ座間で実施されており、キャンプ座間周辺からの相談・苦情等は無かったが、補給廠周辺にお住まいの方からの相談・苦情等は合計9件あった。補給廠メインゲートを入れてすぐ左の場所でその訓練を実施していたと市民の方からの情報や米軍のSNS等を通じて確認している。市民を不安にさせる訓練はくれぐれも実施しないよう申し入れたところであり、今後もしっかり求めていく。

2点目、県内の厚木海軍航空施設、横須賀海軍基地におけるPFOSの流出は、新聞等でかなり大きな出来事として報道されている。昨年7月、米陸軍から、市内の米軍基地のPFOSの交換は既に了していると通知があった。市内の3つの米軍基地には、PFOSは無いと聞いている。

調査について、市環境部局が市内一円を調査しているが、いくつかの箇所では基準値を超える箇所もあったと聞いている。国内の米軍基地周辺で米軍基地由来

のPFOSの検出が報道されていることもあり、市環境部局は、本年1月、補給廠、キャンプ座間及び相模原住宅地区それぞれの基地から河川に流れ出る箇所でも暫定基準値を下回る結果となっており、現状、市内の基地に関連するPFOS、PFOAの問題は生じていないと認識している。

○ キャンプ座間では、空砲を使った訓練に対する苦情はなかったと先ほどの話にあったが、これは、我々相武台地区の住民がキャンプ座間の陸上自衛隊の担当者と話をしていて、空砲を使うような訓練がある場合、事前に地元知らせてもらうよう約束いただいている。知らせがなかったのも、キャンプ座間ではそのような訓練は行われていないと信じている。

● 地元と陸上自衛隊がそのような密な連携をいただいていることに感謝申し上げます。

○ 相模総合補給廠のヘリコプター騒音問題について、令和元年に騒音記録計が設置され、設置からの4年間、年間の計測回数がだいたい1800回台で推移している。1日平均として、約5回程度の計測が継続的に行われている。

測定回数から見ると、4年間の体感としては変化がないように見える。だが、地域住民の一人として、体感としては騒音が減っているように感じている。騒音に対する苦情もピーク時よりは減少しているように思うが、市としてどのような受け止めをされているか。また苦情件数の推移についてはどのようなものか。

● 補給廠周辺の騒音測定回数は、やや少なくなってきたか、横ばいと言える。

一方で、苦情をいただく件数は、通年で測定することができた令和元年度からの推移で言うと、令和元年が67件、令和2年度が少し増えて96件、令和3年度は61件、令和4年度は38件。一時的に増加した年もあったが、減少した年もある。コロナ禍で家にいる機会が増え、ヘリコプターの騒音が気になるという声が増加することを想定していたが、実際には苦情の件数は全体として減少傾向にあると受け止めている。しかし、それで解決しているとは考えていない。依然として騒音に加え、事故に対する不安もあることから、引き続きヘリコプターの飛来を無くすよう、求めていく。

○ 令和3年から令和4年にかけて苦情件数が半減しているのがよく分かる。測定の在り方について、65デシベル以上の音が5秒以上続いた回数を1回として騒音を計測しているという定義があるが、ここに一つポイントがあると思う。

5秒から10秒の間、ヘリコプターが通過していただくだけの騒音である場合と上空を数分間旋回する場合の騒音では、その被害の感覚が異なる。測定回数だけでは測りしれない地域住民の被害がある。

旋回時の騒音の方が被害が大きいため、米軍に要請する際の大切なポイントと

して、住宅密集地上空における旋回飛行を徹底して禁止してほしいと強調する必要がある。一つの意見として取り扱ってほしい。

- 新戸相武台線について、現在、1件のアパートが交渉困難な状況となっている。これを解決するには時間がかかるのではないか。推進するべきか推進するべきでないかは悩ましいところであり、検討してほしい。

また、最近、地元住民にとってボールの飛び出しよりも怖いのは、防球ネットの老朽化である。昨夜の雷雨のような荒天時や台風の接近時等、防球ネットの支柱が揺れ、倒れるのではないかという心配がある。また、防球ネットが立てる音で近隣住民は夜も眠れないほどで、ヘリコプター騒音よりもうるさいと感じる。

先日、仁科議員が議会においてキャンプ座間側道の共同使用について質問したが、これは地元としても強い要望を挙げていきたいと思っている。よろしく願いしたい。

- 新戸相武台線は、ご指摘のとおり課題があり、なかなか進まない現状があるが、平成22年度から続けてきている工事であり、今後、打開策を模索していきたい。

ゴルフボールについて、防球ネットの構造についてのご懸念は、地元から伺っている。強度等基準は満たしていると聞いているが、いずれは老朽化するものであるので、地元の方のご心配のないよう、更新等について検討を求めている。

キャンプ座間ゴルフ場周辺外周道路については、まさに我々の返還4事案の一つであり、時間がかかる交渉ではあるが、粘り強く求めていく。

- ◎ 新戸相武台線について補足したい。用地取得について交渉しなければならない物件は1件ではなく、複数件ある。私が市長になってから、令和2年に暫定供用として開通させた経緯がある。

新戸相武台線を優先しなければならない理由として、国の補助金を取得するに当たり、まず一つの工事を完了しないと、同一自治体の中では別の工事に国の予算がつかないというルールがある。

現在、新戸相武台線では、3号橋の架け替えを実施している。在日米陸軍基地管理本部のトムリンソン司令官にも説明したが、相武台側の物件を避けて通るルートを検討中している。新戸相武台線の工事完了後、相模総合補給廠北側外周道路や相模原住宅地区のウォーターフィルタープラント区域の返還と順次取り組んでいきたい。

### 3 閉会

古内副会長あいさつ

以上